元号一覧 248

元号の上の枠外に書いた数字は、元号の通し番号です。
出来事名の後に掲載した数字は西暦年です。
◉は各世紀の始まりを含む元号です。

参考文献「日本年号史大辞典」「歴代天皇・年号事典」

2019
令和元年5月1日　其阿彌秀文

飛鳥時代　1

- 7世紀
  - ◉大化（たいか）
  - 白雉（はくち）（元号なし）
  - 朱鳥（しゅちょう）（元号なし）
- 8世紀
  - ◉大宝（たいほう）
  - 慶雲（けいうん）

大化の改新 645
初めて年号を建て「大化」とする
備後国（現在の広島県東部）・安芸国（現在の広島県西部）が誕生する 646
大宝律令完成 701
刀剣に関する記述「年月及び工匠ノ姓名ヲ鐫題（せんだい）セシム」

奈良時代　6

- 和銅（わどう）
- 霊亀（れいき）
- 養老（ようろう）
- 神亀（じんき）
- 天平（てんぴょう）
- 天平感宝（てんぴょうかんぽう）
- 天平勝宝（てんぴょうしょうほう）
- 天平宝字（てんぴょうほうじ）
- 天平神護（てんぴょうじんご）
- 神護景雲（じんごけいうん）
- 宝亀（ほうき）
- 天応（てんおう）

平城京に遷都 710（奈良）
初代正家が尾道に住む 729
万葉集「梅花の歌」大伴旅人 730
大伴家持により万葉集の編纂が終わる 771

平安時代　18

- 9世紀
  - ◉延暦（えんりゃく）
  - 大同（だいどう）
  - 弘仁（こうにん）
  - 天長（てんちょう）
  - 承和（じょうわ）
  - 嘉祥（かしょう）
  - 仁寿（にんじゅ）
  - 斉衡（さいこう）
  - 天安（てんあん）
  - 貞観（じょうがん）
  - 元慶（がんぎょう）
  - 仁和（にんな）
  - 寛平（かんぴょう）
- 10世紀
  - ◉昌泰（しょうたい）
  - 延喜（えんぎ）
  - 延長（えんちょう）
  - 承平（じょうへい）
  - 天慶（てんぎょう）
  - 天暦（てんりゃく）
  - 天徳（てんとく）
  - 応和（おうわ）
  - 康保（こうほ）
  - 安和（あんな）
  - 天禄（てんろく）
  - 天延（てんえん）
  - 貞元（じょうげん）
  - 天元（てんげん）
  - 永観（えいかん）
  - 寛和（かんな）
  - 永延（えいえん）
  - 永祚（えいそ）
- 11世紀
  - ◉長保（ちょうほ）
  - 寛弘（かんこう）
  - 長和（ちょうわ）
  - 寛仁（かんにん）
  - 治安（ちあん）
  - 万寿（まんじゅ）
  - 長元（ちょうげん）
  - 長暦（ちょうりゃく）
  - 長久（ちょうきゅう）
  - 寛徳（かんとく）
  - 永承（えいしょう）
  - 天喜（てんき）
  - 康平（こうへい）
  - 治暦（ちりゃく）
  - 延久（えんきゅう）
  - 承保（じょうほ）
  - 承暦（じょうりゃく）
  - 永保（えいほ）
  - 応徳（おうとく）
- 12世紀
  - ◉康和（こうわ）
  - 長治（ちょうじ）
  - 嘉承（かしょう）
  - 天仁（てんにん）
  - 天永（てんえい）
  - 永久（えいきゅう）
  - 元永（げんえい）
  - 保安（ほあん）
  - 天治（てんじ）
  - 大治（だいじ）
  - 天承（てんしょう）
  - 長承（ちょうしょう）
  - 保延（ほえん）
  - 永治（えいじ）
  - 康治（こうじ）
  - 天養（てんよう）
  - 久安（きゅうあん）
  - 仁平（にんぺい）
  - 久寿（きゅうじゅ）
  - 保元（ほげん）
  - 平治（へいじ）
  - 永暦（えいりゃく）
  - 応保（おうほ）
  - 長寛（ちょうかん）
  - 永万（えいまん）
  - 仁安（にんあん）
  - 嘉応（かおう）
  - 承安（じょうあん）
  - 安元（あんげん）
  - 治承（ちしょう）
  - 養和（ようわ）
  - 寿永（じゅえい）
  - 元暦（げんりゃく）
  - 文治（ぶんじ）

尾道の北部の世羅の豪族によって、世羅台地に広がる荘園、大田荘が開かれる
菅原道貴、大宰府に左遷の折尾道の長江の小麦畑に寄る 901
この頃尾道では、神社やお寺がさかんに建てられる
平安京遷都 794（京都）
日本刀五力伝の一つ大和伝が奈良で起こる
「尾道」という名前が初めて歴史上に登場する 1081
この頃から、大田荘が平氏の領地となる 1166
平清盛が太政大臣になる 1167
壇ノ浦の戦い、平氏滅亡 1185
備後国の大田荘が紀州高野山領になり、備後国に大和伝の刀が伝わる 1186

鎌倉時代　108

- 13世紀
  - ◉正治（しょうじ）
  - 建仁（けんにん）
  - 元久（げんきゅう）
  - 建永（けんえい）
  - 承元（じょうげん）
  - 建暦（けんりゃく）
  - 建保（けんぽう）
  - 承久（じょうきゅう）
  - 貞応（じょうおう）
  - 元仁（げんにん）
  - 嘉禄（かろく）
  - 安貞（あんてい）
  - 寛喜（かんぎ）
  - 貞永（じょうえい）
  - 天福（てんぷく）
  - 文暦（ぶんりゃく）
  - 嘉禎（かてい）
  - 暦仁（りゃくにん）
  - 延応（えんおう）
  - 仁治（にんじ）
  - 寛元（かんげん）
  - 宝治（ほうじ）
  - 建長（けんちょう）
  - 康元（こうげん）
  - 正嘉（しょうか）
  - 正元（しょうげん）
  - 文応（ぶんおう）
  - 弘長（こうちょう）
  - 文永（ぶんえい）
  - 建治（けんじ）
  - 弘安（こうあん）
  - 正応（しょうおう）
  - 永仁（えいにん）
  - 正安（しょうあん）
- 14世紀
  - ◉乾元（けんげん）
  - 嘉元（かげん）
  - 徳治（とくじ）
  - 延慶（えんきょう）
  - 応長（おうちょう）
  - 正和（しょうわ）
  - 文保（ぶんぽう）
  - 元応（げんおう）
  - 元亨（げんこう）
  - 正中（しょうちゅう）
  - 嘉暦（かりゃく）
  - 元徳（げんとく）

鎌倉幕府成立 1192
六代正家の存在が伝えられる 1306〜1307
後醍醐天皇即位 1318
尾道に立ち寄った時宗の真教上人から、六代正家が其阿弥の法名を賜る 1313
六代正家が備後国糸崎で刀作りを始める 1316

南北朝時代　155

南朝

- 元弘（げんこう）
- 建武（けんむ）
- 延元（えんげん）
- 興国（こうこく）
- 正平（しょうへい）
- 建徳（けんとく）
- 文中（ぶんちゅう）
- 天授（てんじゅ）
- 弘和（こうわ）
- 元中（げんちゅう）

北朝

- 元徳（げんとく）
- 正慶（しょうきょう）
- 建武（けんむ）
- 暦応（りゃくおう）
- 康永（こうえい）
- 貞和（じょうわ）
- 観応（かんのう）
- 文和（ぶんな）
- 延文（えんぶん）
- 康安（こうあん）
- 貞治（じょうじ）
- 応安（おうあん）
- 永和（えいわ）
- 康暦（こうりゃく）
- 永徳（えいとく）
- 至徳（しとく）
- 嘉慶（かきょう）
- 康応（こうおう）
- 明徳（めいとく）

鎌倉幕府滅亡 1333
室町幕府成立 1338
南北朝の合一 1392
この頃から、尾道にすぐれた刀工がいることが世間に知れ渡る 1366
「三原」の文字が文献上に初めて現れる 1350

室町時代　208

- 15世紀
  - ◉応永（おうえい）
  - 正長（しょうちょう）
  - 永享（えいきょう）
  - 嘉吉（かきつ）
  - 文安（ぶんあん）
  - 宝徳（ほうとく）
  - 享徳（きょうとく）
  - 康正（こうしょう）
  - 長禄（ちょうろく）
  - 寛正（かんしょう）
  - 文正（ぶんしょう）
  - ◉応仁（おうにん）
  - 文明（ぶんめい）
  - 長享（ちょうきょう）
- 16世紀
  - ◉明応（めいおう）
  - 延徳（えんとく）
  - 文亀（ぶんき）
  - 永正（えいしょう）
  - 大永（だいえい）
  - 享禄（きょうろく）
  - 天文（てんぶん）
  - 弘治（こうじ）
  - 永禄（えいろく）
  - 元亀（げんき）
  - 天正（てんしょう）
  - 文禄（ぶんろく）

応仁の乱（京都）1467
山名宗全が尾道を支配下に置く
「最上大業物」の正家の登場
尾道から10数万振りの大量の刀を輸出（日明貿易）1404
毛利元就が吉田郡山城主になる 1523
この頃から、三原鍛冶は毛利家のお抱え刀工になる
毛利隆元が厳島神社に三原の刀を寄進
毛利元就が中国地方を統一 1566
小早川隆景が三原城を築く 1567
三原城の二の丸に三原鍛冶の鍛冶屋敷が出来る
足利義昭を奉し、織田信長入京 1568
室町幕府滅亡 1573
毛利の水軍が石山本願寺に兵糧米を入れる 1576
本能寺の変 1582
毛利輝元が上洛して豊臣秀吉と対面 1588
豊臣秀吉が刀狩を命じる 1588
豊臣秀吉が全国を統一 1590
文禄・慶長の役 1592
豊臣秀吉が尾道に名護屋までの「継ぎ船」を置く
毛利秀元が厳島神社に三原の刀を寄進

安土桃山時代　244

- 天正（てんしょう）
- 文禄（ぶんろく）

江戸時代　210

- 17世紀
  - ◉慶長（けいちょう）
  - 元和（げんな）
  - 寛永（かんえい）
  - 正保（しょうほう）
  - 慶安（けいあん）
  - 承応（じょうおう）
  - 明暦（めいれき）
  - 万治（まんじ）
  - 寛文（かんぶん）
  - 延宝（えんぽう）
  - 天和（てんな）
  - 貞享（じょうきょう）
  - 元禄（げんろく）
  - 宝永（ほうえい）
  - 正徳（しょうとく）
  - 享保（きょうほう）
  - 元文（げんぶん）
  - 寛保（かんぽう）
  - 延享（えんきょう）
  - 寛延（かんえん）
  - 宝暦（ほうりゃく）
  - 明和（めいわ）
  - 安永（あんえい）
  - 天明（てんめい）
  - 寛政（かんせい）
- 19世紀
  - ◉享和（きょうわ）
  - 文化（ぶんか）
  - 文政（ぶんせい）
  - 天保（てんぽう）
  - 弘化（こうか）
  - 嘉永（かえい）
  - 安政（あんせい）
  - 万延（まんえん）
  - 文久（ぶんきゅう）
  - 元治（げんじ）
  - 慶応（けいおう）

浅野長晟「大三原」拝領 1598
石田三成捕縛 1600
刀 貝三原「さゝのつゆ」
江戸幕府成立 1603
大阪夏の陣 1615
豊臣家滅亡
赤穂浪士討ち入り 1702
其阿弥藤右衛門が尾道で鐔工になる 1631
尾道に鍛冶屋町の記録がある 1638
備後国の貝三原正近の後裔が姫路に移住 銘 大和守藤原正家
直助権兵衛の事件が起こる 1721
脇差 銘 三原則光
松浦静山が日光東照宮参拝に備後三原正近の刀を持参 1799
江戸幕府滅亡
紀州徳川家留守居役伝来刀 銘 尾道住正光
明治維新 1868
廃刀令により其阿彌鍛冶屋を止める 1876
其阿弥長行と正光の毛抜形太刀が国宝（現在は国の重要文化財）に指定 1915
明仁親王（現上皇陛下）御生誕祝いとして鹿児島の島津家より、太刀 銘 正家が献上 1934
第二次世界大戦後に接収された三原の刀（赤羽刀）の一部が広島県に返還 1995

2019年 5月1日「令和」に改元　248

- 21世紀
  - ◉平成（へいせい）
  - 昭和（しょうわ）
- 20世紀
  - ◉大正（たいしょう）
  - ◉明治（めいじ）
- 令和（れいわ）